

世界を見つめた薩摩焼の人

眞
號
香
爐

| 黎明館企画展 |

没後120年

十二代沈壽官と 苗代川

Chin Jukan XII
Naeshirogawa

令和8年

9月10日(木) - 11月29日(日)

| 会場 | 黎明館3階 企画展示室 | 時間 | 9:00~18:00 (入館は17:30まで)

| 休館日 | 毎週月曜日 (9月21日(月)・10月12日(月)・11月23日(月)をのぞく)

9月24日(木)・9月25日(金)・10月13日(火)・11月24日(火)・11月25日(水)

| 料金 | 常設展示と共通 一般 430円(320円) / 高校・大学生 270円(160円) / 小・中学生 160円(90円)

()は20名以上の団体料金 / 身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の提示のあった方と、その介助者1名は免除 / 県内の小中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒とその引率者については、教育課程等に基づく学習活動として入館する場合は免除(要事前申請) / 鹿児島県内居住の70歳以上は無料(要身分証) / 鹿児島県内居住の18歳以下は土日祝日は無料(要身分証)

鹿児島県歴史・美術センター黎明館
Kagoshima Prefectural Museum of Culture Reimeikan

十二代沈壽官写真 沈家伝世品収蔵庫蔵
荒乗大香炉下絵図 沈家伝世品収蔵庫蔵
錦手牡丹文花瓶 十二代沈壽官 19世紀後半

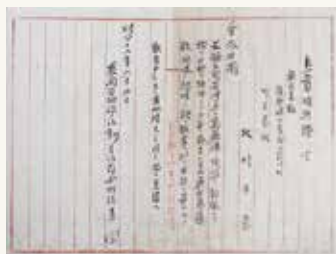
没後120年 十二代沈壽官と苗代川

本年は第2回バリ万博をきっかけにまきおこった薩摩焼の大輸出時代を牽引した十二代沈壽官(1835-1906)の没後120年に当たります。そこで朝鮮人陶工の渡来にはじまり、藩の保護と統制により朝鮮風俗を保持した薩摩焼の里という特殊な地域となった苗代川の歴史と、その末裔である沈壽官が創業した玉光山陶器製造場の経営や製作活動を振り返る企画展を開催します。

◎は沈家伝世品収蔵庫蔵



苗代川由来記 江戸時代～明治時代



朴平意追賞授与と謄写 明治時代 ◎



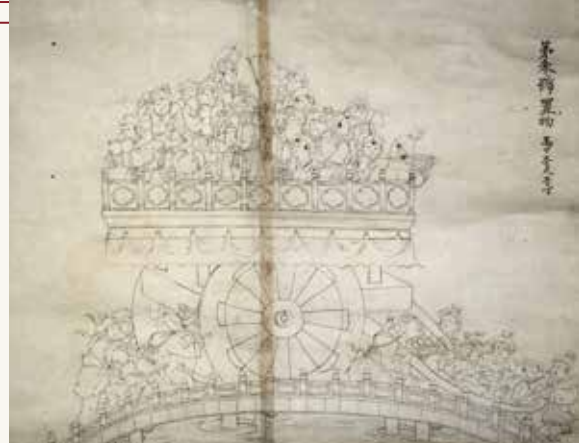
三国名勝図会 明治38年(1905)刊
原本：天保14年(1843)



染付松竹梅鶴亀図大皿
安政4年(1857) ◎



皇后宮大夫香川敬三通牒 明治25年(1892)10月31日 ◎



皇室買上品下絵図「唐子遊ビ橋渡之図」 明治25年(1892) ◎



シカゴ万国博覧会出品本目錄
明治25年(1892) ◎



錦手虎置物
十二代沈壽官 19世紀後半



錦手大原女像 十二代沈壽官 19世紀後半

Events

関連イベント

学芸講座の申込詳細は、ホームページをご覧ください。

学芸講座(展示解説講座)「没後120年 十二代沈壽官と苗代川」

講師 | 黎明館主任学芸専門員 深港 恭子

日時 | 令和8年11月14日(土) 13:30~15:00

会場 | 黎明館3階 講座室

申込 | 事前申込制(電子申請または往復ハガキ)

【応募期間：10月16日(金)~10月30日(金)】

※ 講座後に、企画展示室で展示解説を行います(要団体入館料)

展示解説

日時 | 令和8年9月26日(土) 13:30~14:10 10月10日(土) 13:30~14:10
10月25日(日) 13:30~14:10 11月14日(土) 15:10~15:50

会場 | 黎明館3階 企画展示室

※ 要入館料、事前申込不要

Annual Passport

年間パスポート

一般	860円
高校・大学生	540円
小・中学生	320円

発行から1年間の有効期間中、何度でも常設展示をご覧ください。



Access

アクセス

◎鹿児島空港から鹿児島市行き空港バス「市役所前」下車徒歩10分 ◎JR鹿児島駅から徒歩15分 ◎市電・バス「市役所前」または「水族館口」下車徒歩7分 ◎市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ



駐車場
普通車 125台 バス 20台

鹿児島県歴史・美術センター黎明館

〒892-0853 鹿児島市城山町7-2

☎099-222-5100

